



加西市における支援体制について



橋本 真由美 議員
(清流会・かさいを育む会)

発達障がい児支援

- 問** 発達支援を必要とする子供の保護者へのアプローチは、市や障害者自立支援協議会が作成しているサービス利用の手引き等が、スムーズに手元に届くよう、医療や福祉など関係機関と連携を図ります。また、市のホームページを見直し、情報を入力しやすい環境整備に努めるとともに、相談しやすい窓口や人材育成に取り組みたいと考えます。

5歳児健診

- 問** 5歳児健診はどのように実施されるのか。

答 主に問診票により、生活や発達状況、園での様子を把握します。あわせて、集団での遊びの中で、集団行動や集団での指示理解を確認することにより、子供の状況を総合的に把握します。小児科医が、これらの情報と身体の発達の診察により、支援の必要性を判断します。

子ども食堂について

- 問** 加西市が支援していくべき子ども食堂の姿、また、目指す支援の形とは。
- 答** 加西市は、令和年度より市内の子ども食堂に対する補助金制度を開始しています。子ども食堂それぞれの地域特性に応じた取組とその主体性を尊重しながら、引き続き安定した運営が行われるよう支援していきたいと考えます。

意見 私がメンバーとして参加している子ども食堂は、本当に支援を必要とする方への支援活動として始まっている。今は支援の間口を広げているが、本当に支援を必要としている方の相談に乗ってサポートし、行政へつなげられるようメンバー一人一人が強い思いを持って活動している。

福祉的な支援として、行政の支援が届かない部分を補うように活動している子ども食堂を一度でも見学し、その活動をきちんと知っていただきたい。運営メンバーも子育てしながら、少しでも助けになれば子ども食堂を月に1回優先して活動している。利用者アンケートの声にも耳を傾け、実態を把握し、本当の支援とは何か理解していただきたい。

■その他の質問項目

- ・第二附属棟について



学校は地域のシンボル！（学校跡地利用）



佐伯 欣子 議員
(清流会・かさいを育む会)

- 問** 統廃合が進む中、学校跡地利用の基本的な考え方は。
- 答** ①官民連携により学校施設跡地の活用を図る。②学校施設周辺地域との調和を保ちながら活用を図る。③学校施設の形状、地域的な特徴、与える効果を考慮して活用を図る。この3点を念頭に、費用負担の少ない手法を優先していきたいと考えます。

- 問** 学校跡地利用について地域からの意見、要望は。
- 答** 泉小学校区では、統合小学校として利用されることが

ら、まちづくり政策を含めた意見として、生活の利便性向上のためのスーパーの誘致や道路改良が必要との意見がありました。宇仁小学校区では、不登校児童を受け入れる教育施設や地域交流拠点施設としての利活用の希望がありました。西在田小学校区では、介護施設やスポーツ等合宿施設、企業誘致、レストラン、農業研究施設等の多くの意見がありました。

問 視察を行った鳥取県八頭町の学校跡地利用では、①大人から高校生まで幅広く、意見交換会など議論、検討し、②学校は地域のシンボルという住民の思いの下、コミュニティ機能を残すよう取り組んでおり、加西市として取り入れるべきと思うが、現在の取組状況は。

答 地域との話し合いは続いています。新たに整備される

統合小学校や統合中学校の児童・生徒と学校跡地との連携についても、今後検討していきます。学校跡地を地域の核として交流拠点、地域経済の活性化、防災拠点など複合的に機能を持ち続けることは、持続的な地域コミュニティの維持発展において重要です。そして、都市核や副都市核を接続することで機能強化や居住誘導を進めるなど、周辺集落のサポートにもつなげたいと考えます。

- 問** 加西市版コンパクトシティ構想と地域の生かし方は。
- 答** 都市計画マスタープランにおいても学校跡地を地域拠点と位置づけ、跡地利用の検討は地域の将来を考える機会と捉えています。地域コミュニティによる活用は大きな検討課題となっていますが、よい方向性を見いだせるよう努めます。